

令和2年度 国語科

教科	国語科	科目	古典B	単位数	3単位	年次	2年次
使用教科書	「精選 古典B 古文編」(教育出版) 「精選 古典B 漢文編」(教育出版)						
副教材等	『体系古典文法』(数研出版)、『新明説漢文』(尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

辞書・文法書・単語集等を活用して、文法力と語彙力を養成すべく、日々着実に予習に取り組みましょう。授業においては、予習における自身の理解と読みが的確であるかどうかを確かめるとともに、古典から読み取れる人々の思想やものの感じ方を通して、自国の文化についての理解と愛着を深め、感性を豊かにし、古典に親しむ意識や態度を養ってください。音読を習慣づけ、韻文・散文共にできるだけ多くの文章を暗唱することが望ましいでしょう。

2 学習の到達目標

- ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。
- ・音読を通して、多くの文章が暗唱できる。
- ・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確に捉え、人間、社会、自然などに対する思想や感情を理解し、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。
- ・古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察する。
- ・古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解する。

3 学習評価(評価基準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解	
観 点 の 趣 旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。	
評 価 方 法	記述の点検 (ノート、レポート) 行動の観察 (音読・発言・暗唱)	記述の確認及び分析 (ワークシート) 行動の観察(発言・発表) 定期テスト	行動の観察 記述の確認 小テスト 定期テスト	

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c			
1	説話・随筆・故事・逸話	・『宇治拾遺物語』 「袴垂と保昌」 ・『枕草子』 「中納言参り給ひて」 ・「画竜点睛」「漱石枕流」	○	◎	○		a: 状況や登場人物の心情の推移などを的確に捉えようとしているか。 b: 古典を読んで内容を構成や展開に応じても的確に捉えられているか。 c: 故事や逸話をよみ、故事成語の意味と用法を理解しているか。	・行動の観察(音読・発言・暗唱) ・記述の点検(ノート) ・小テスト ・定期テスト
1	歌物語・史伝	・『伊勢物語』 「初冠」「梓弓」 ・『史記』 「鴻門の会」	○	◎	○		a: 古人の生き方・生活・文化、ものの見方や考え方について認識を深めようとしているか。 b: 作者・登場人物の人柄や感性の特質を理解し、作品の面白さを味わうことができるか。 c: 宮廷社会の仕組みや敬語に関して理解できているか。	・行動の観察(音読・発言・暗唱) ・記述の点検(ノート) ・小テスト ・定期テスト
2	歌物語・日記・史伝	・『大和物語』 「姥捨山」 ・『更級日記』 「をかしげなる猫」 ・『史記』 「四面楚歌」 「項王の最期」	○	◎	○		a: 文献等を用いて平安時代の宮廷の仕組みや物語文学について調べ、わかりやすく発表しようとしているか。 b: 作者・登場人物の人柄や感性の特質を理解し、作品の面白さを味わうことができるか。 c: 敬語の意味と用法について整理し、理解できているか。	・行動の観察(音読・発言・発表) ・記述の点検(ノート) ・小テスト ・定期テスト ・発表資料 ・記述の確認(ワークシート)

2	作り物語・文	<ul style="list-style-type: none"> ・『源氏物語』 「光源氏誕生」 「若紫との出会い」 ・『桃花源記』 	○	◎	○	<p>a: 登場人物の人物像や歴史的 事件の読み取りを通して、人 間の生き方についての考えを 深めようとしているか。</p> <p>b: 登場人物の関係や行動、心情 を捉えられるか、また人物や 事件について作者がどのよう に思っているかを考えること ができるか。</p> <p>c: 敬語の知識を、読解に利用で きているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観 察（音 読・発言） ・記 述 の 点 検（ノート） ・小テスト ・定期テスト ・ワークシー ト
3	歴史物語・上代の文学・思想	<ul style="list-style-type: none"> ・『大鏡』 「南院の競射」 ・『古事記』 「黄泉つひら坂」(上巻) ・孟子「不忍人之心」 ・老子「小国寡民」 ・莊子「混沌」 	○	◎	○	<p>a: 物語を取り巻く時代の背景、 文化的環境についての理解を 深めようとしているか。</p> <p>古代の人の思想に触れ、自身の 考え方を深めようとしている か。</p> <p>b: それぞれの場面、登場人物の 人間関係を正確につかみ、登 場人物の心情の動きを理解し ているか。</p> <p>性善、性悪をめぐる古代思想 家の考え方を理解している か。</p> <p>c: 基本的な古典文法や句法を 身に付けられているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観 察（音 読・発言） ・小テスト ・定期テスト ・記 述 の 点 検（ノート・ワ ークシート）

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 読む能力
c: 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎を付けている。

令和2年度 国語科

教科	国語科	科目	古典B	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「精選 古典B 古文編」(教育出版) 「精選 古典B 漢文編」(教育出版)						
副教材等	『体系古典文法』(数研出版) 、『新明説漢文』(尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

辞書・文法書・単語集等を活用して、文法力と語彙力を養成すべく、日々着実に予習に取り組みましょう。授業においては、予習における自身の理解と読みが的確であるかどうかを確かめるとともに、古典から読み取れる人々の思想やものの感じ方を通して、自国の文化についての理解と愛着を深め、感性を豊かにし、古典に親しむ意識や態度を養ってください。音読を習慣づけ、韻文・散文共にできるだけ多くの文章を暗唱することが望ましいでしょう。

2 学習の到達目標

- ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。
- ・音読を通して、多くの文章が暗唱できる。
- ・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確に捉え、人間、社会、自然などに対する思想や感情を理解し、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。
- ・古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察する。
- ・古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解する。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解	
観 点 の 趣 旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。	
評 価 方 法	記述の点検 (ノート、レポート) 行動の観察 (音読・発言・暗唱)	記述の確認及び分析 (ワークシート) 行動の観察(発言・発表) 定期テスト	行動の観察 記述の確認 小テスト 定期テスト	
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c			
1	説話・随筆・故事・逸話	・『宇治拾遺物語』 「袴垂と保昌」 ・『枕草子』 「中納言参り給ひて」 ・「画竜点睛」「漱石枕流」	○	◎	○		a: 状況や登場人物の心情の推移などを的確に捉えようとしているか。 b: 古典を読んで内容を構成や展開に応じても的確に捉えられているか。 c: 故事や逸話をよみ、故事成語の意味と用法を理解しているか。	・行動の観察(音読・発言・暗唱) ・記述の点検(ノート) ・小テスト ・定期テスト
1	歌物語・史伝	・『伊勢物語』 「初冠」「梓弓」 ・『史記』 「鴻門の会」	○	◎	○		a: 古人の生き方・生活・文化、ものの見方や考え方について認識を深めようとしているか。 b: 作者・登場人物の人柄や感性の特質を理解し、作品の面白さを味わうことができるか。 c: 宮廷社会の仕組みや敬語に関して理解できているか。	・行動の観察(音読・発言・暗唱) ・記述の点検(ノート) ・小テスト ・定期テスト
2	歌物語・日記・史伝	・『大和物語』 「姥捨山」 ・『更級日記』 「をかしげなる猫」 ・『史記』 「四面楚歌」 「項王の最期」	○	◎	○		a: 文献等を用いて平安時代の宮廷の仕組みや物語文学について調べ、わかりやすく発表しようとしているか。 b: 作者・登場人物の人柄や感性の特質を理解し、作品の面白さを味わうことができるか。 c: 敬語の意味と用法について整理し、理解できているか。	・行動の観察(音読・発言・発表) ・記述の点検(ノート) ・小テスト ・定期テスト ・発表資料 ・記述の確認(ワークシート)

2	作り物語・文	<ul style="list-style-type: none"> ・『源氏物語』 「光源氏誕生」 「若紫との出会い」 ・『桃花源記』 	○	◎	○	<p>a: 登場人物の人物像や歴史的 事件の読み取りを通して、人 間の生き方についての考えを 深めようとしているか。</p> <p>b: 登場人物の関係や行動、心情 を捉えられるか、また人物や 事件について作者がどのよう に思っているかを考えること ができるか。</p> <p>c: 敬語の知識を、読解に利用で きているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観 察（音 読・発言） ・記 述 の 点 検（ノート） ・小テスト ・定期テスト ・ワークシー ト
3	歴史物語・上代の文学・思想	<ul style="list-style-type: none"> ・『大鏡』 「南院の競射」 ・『古事記』 「黄泉つひら坂」(上巻) ・孟子「不忍人之心」 ・老子「小国寡民」 ・莊子「混沌」 	○	◎	○	<p>a: 物語を取り巻く時代の背景、 文化的環境についての理解を 深めようとしているか。</p> <p>古代の人の思想に触れ、自身の 考え方を深めようとしている か。</p> <p>b: それぞれの場面、登場人物の 人間関係を正確につかみ、登 場人物の心情の動きを理解し ているか。</p> <p>性善、性悪をめぐる古代思想 家の考え方を理解している か。</p> <p>c: 基本的な古典文法や句法を 身に付けられているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観 察（音 読・発言） ・小テスト ・定期テスト ・記 述 の 点 検（ノート・ワ ークシート）

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 読む能力
c: 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎を付けている。

令和2年度 国語科

教科	国語	科目	古典B(文系)	単位数	4単位	年次	3年次
使用教科書	『古典B 古文編 / 漢文編』 (数研出版)						
副教材等	『新版五訂完全マスター古典文法』 (第一学習者)、『新明説漢文』 (尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・最終的には、初見の古文・漢文の読解ができるように、語彙力や文法の知識をしっかりと身につけること。
- ・自分の力で古文・漢文を読む練習として、ノートに本文と文法事項・現代語訳を併記する予習を心がけてほしい。
- ・古文単語の小テストを実施します。
- ・定期考査には、センター型の初見の問題も出題します。

2 学習の到達目標

- ・古文・漢文の語彙や文法の知識を身につけ、初見の文章を読みこなすことができる。
- ・古文・漢文を通して、人間・社会・自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、豊かなものの見方・感じ方・考え方を育んでいる。
- ・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解	
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。	
評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	記述の確認及び分析 (ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト	
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c			
1	随筆・逸話・小説	【古文】 ・『枕草子』 「二月つごもりごろに」 「宮に初めて参りたるころ」 【漢文】 ・「知音」 「三横」 「売鬼」	○	◎	○		【古文】 a: 作品に表れた作者の宮中の暮らしぶりや考え方に興味を持っている。 b: 語句や表現に注意して文脈を捉え、作者の心情の推移を読み取っている。 c: 助詞・助動詞を理解し、正しく現代語訳している。 敬語の種類や敬意の方向について理解している。 「なむ」の識別を理解している。 【漢文】 a: 古代中国で生まれた言葉が日本語として定着することに興味を持っている。 b: 登場人物の行動と心理を読み取り、自身のものの見方、考え方を豊かにしている。 c: 文章に出てくる句法を理解し、正しく現代語訳している。 再読文字を理解している。 「つひに」「すなはち」などの漢字の使い分けを理解している。	・観察(音読・発言) ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト

1	日記文学・物語・小説・随筆	<p>【古文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『蜻蛉日記』 「うつろひたる菊」 ・『紫式部日記』 「水鳥の足」 ・『源氏物語』 「須磨」 <p>【漢文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人面桃花」 ・「売油翁」 	○	◎	○	<p>【古文】</p> <p>a: 日記文に表れた平安時代の女性の生き方やものの見方に興味を持っている。</p> <p>結婚の形態について、現代との相違を理解しようとしている。</p> <p>作り物語の描く人物造形や心情に関心をもって読み進めている。</p> <p>b: 語句や表現に注意して文脈を捉えるとともに、和歌に着目して作者や登場人物の心情の推移を読み取っている。</p> <p>c: 和歌の修辞を理解している。</p> <p>助詞の用法について理解している。</p> <p>「なり」「に」「る」の識別を理解している。</p> <p>漢文が古文に与えた影響について理解している。</p> <p>【漢文】</p> <p>a: 漢文小説の世界に興味関心を持っている。</p> <p>『莊子』の引用に注目して、古代中国人のものの見方に興味を持ち、我が国の文化への影響への考察を深めている。</p> <p>b: 語句や表現に注意して文脈を捉え、登場人物の行動や心情を読み取っている。</p> <p>c: 文章に出てくる句法を理解し、正しく現代語訳している。</p> <p>「また」「なんぢ」などの漢字用法について理解している。</p> <p>返読文字を理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察（音読・発言） ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
---	---------------	---	---	---	---	---	--

2	歴史物語・史伝	<p>【古文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『大鏡』 「道真と時平」 「最後の除目」 ・『栄花物語』 「兼通と兼家」 <p>【漢文】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『史記』 ・「荊軻」 	○	◎	○	<p>【古文】</p> <p>a: 歴史物語に表現されている事件や人物像の読み取りを通じて、人間の生き方や考え方についての考察を深めようとしている。</p> <p>比較読みによって、作者の意図の相違を理解している。</p> <p>b: 語句や表現に注意して文脈を捉え、登場人物の関係性や心情の推移を読み取っている。</p> <p>c: 助詞・助動詞の用法を理解している。</p> <p>敬語の種類・品詞・敬意の方向について理解している。</p> <p>「る」「れ」の識別を理解している。</p> <p>【漢文】</p> <p>a: 『史記』に表現されている事件や人物像の読み取りを通じて、人間の生き方や考え方についての考察を深めている。</p> <p>b: 登場人物の描き方から、司馬遷の歴史観について考察できている。</p> <p>c: 文章に出てくる句法を理解し、正しく現代語訳している。</p> <p>短文の連続など、文章表現に作者の意図が現れていることを理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察（音読・発言） ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
---	---------	---	---	---	---	--	--

2	評論・随筆・史伝	<p>【古文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『無名草子』 「文」 ・『無名抄』 「俊成自讃歌のこと」 ・『玉勝間』 「師の説になづまざること」 <p>【漢文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『史記』 「孫臏」 「廉頗・藺相如」 	○	◎	○	<p>【古文】</p> <p>a: 古典の世界に描かれた古人の生活やものの考え方について考察を深めようとしている。</p> <p>古人の世界で「歌」のもっている意味について、考察を深めている。</p> <p>b: 語句や表現に注意して文脈を捉え、作者の手紙についての主張や和歌についての考えを読み取っている。</p> <p>作者の学問に対する主張を読み取っている。</p> <p>c: 呼応の副詞を理解している。</p> <p>紛らわしい語の識別を理解している。</p> <p>二種類の「給ふ」について理解している。</p> <p>二方面敬語について理解している。</p> <p>【漢文】</p> <p>a: 『史記』に表現されている事件や人物像の読み取りを通じて、人間の生き方や考え方についての考察を深めている。</p> <p>『孫子』の兵法について、興味関心をもち理解している。</p> <p>b: 登場人物の描き方から、司馬遷の歴史観について考察できている。</p> <p>文章から登場人物の行動から心情を読み取っている。</p> <p>c: 文章に出てくる再読文字や句法を理解し、正しく現代語訳している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察（音読・発言） ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
---	----------	---	---	---	---	--	--

3	物語・評論・文章	<p>【古文】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『住吉物語』 「継母の策謀」 〈物語から分かる古人の生活やものの考え方について、グループでまとめて発表する〉 『去来抄』 「行く春を」 「岩鼻や」 <p>【漢文】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『捕蛇者説』 『赤壁賦』 	○	◎	○	<p>【古文】</p> <p>a: 古典の世界に描かれた古人の生活やものの考え方について考察を深め、自分の言葉で発表している。</p> <p>江戸時代の俳諧について興味関心を持っている。</p> <p>b: 語句や表現に注意して文脈を捉え、継子物の特徴や古人のものの見方を読み取っている。</p> <p>作者や芭蕉の俳諧についての考え方を読み取っている。</p> <p>c: 文章全体の構造を意識しながら登場人物を理解している。</p> <p>紛らわしい語の識別を理解している。</p> <p>語句の省略について理解している。</p> <p>【漢文】</p> <p>a: 柳宗元や蘇軾の考えについての考察を深めている。</p> <p>文章が書かれた時代背景について、興味をもっている。</p> <p>b: 文章の構造をとらえ、段落ごとに内容を読み取っている。</p> <p>文章中に引用された漢詩について、その内容を理解している。</p> <p>c: 文章に出てくる句法を理解し、正しく現代語訳している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察（音読・発言） ・ワークシート ・発表態度 ・小テスト ・定期テスト
---	----------	--	---	---	---	--	---

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 読む能力
c: 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎を付けている。

令和2年度 国語科

教科	国語	科目	古典B(理系)	単位数	3単位	年次	3年次
使用教科書	「古典B 古文編 / 漢文編」 (数研出版)						
副教材等	『新版五訂 完全マスター古典文法』(第一学習社) 『新明説漢文』(尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・最終的には、初見の古文・漢文の読解ができるように、語彙力や文法の知識をしっかりと身につけること。
- ・自分の力で古文・漢文を読む練習として、ノートに本文と文法事項・現代語訳を併記する予習を心がけてほしい。
- ・古文単語の小テストを実施します。
- ・定期考査には、センター型の初見の問題も出題します。

2 学習の到達目標

- ・古文・漢文の語彙や文法の知識を身につけ、初見の文章を読みこなすことができる。
- ・古文・漢文を通して、人間・社会・自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、豊かなものの見方・感じ方・考え方を育んでいる。
- ・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解	
観 点 の 趣 旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。	
評 価 方 法	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等)	記述の確認及び分析 (ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート) 小テスト 定期考査	

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c			
1	随筆・逸話	【古文】 ・『枕草子』 「二月つごもりごろに」 「宮に初めて参りたるころ」 【漢文】 ・「知音」 「梁上君子」	○	◎	○		【古文】 a: 作品に表れた作者の宮中での暮らしぶりや考え方に興味を持っている。 b: 語句や表現に注意して文脈を捉え、作者の心情の推移を読み取っている。 c: 助詞・助動詞を理解し、ただし現代語訳している。敬語の種類や用法について理解している。「なむ」の識別について理解している。 【漢文】 a: 古代中国で生まれた言葉が日本語として定着することに興味を持っている。 b: 登場人物の行動と心理を読み取り、自身のものの見方、考え方を豊かにしている。 c: 文章に出てくる句法を理解し、正しく現代語訳している。再読文字を理解している。	・行動の観察(音読・発言) ・記述の確認(ノート・ワークシート) ・小テスト ・定期テスト

1	日記文学・小説	<p>【古文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『蜻蛉日記』 「うつろひたる菊」 ・『和泉式部日記』 「薫る香に」 <p>【漢文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「売鬼」 	○	◎	○	<p>【古文】</p> <p>a: 日記文に表れた平安時代の女性の生き方やものの見方に興味を持っている。</p> <p>b: 語句や表現に注意して文脈を捉えるとともに、和歌に着目して作者の心情の推移を読み取っている。</p> <p>c: 和歌の修辞を理解している。謙譲の補助動詞「給ふ」を理解している。「なり」「に」の識別を理解している。</p> <p>【漢文】</p> <p>a: 中国における「鬼」と我が国の「鬼」の相違点などを通して、文化の違いを理解し、互いに尊重し合う心を持っている。</p> <p>b: 語句や表現に注意して文脈を捉え、登場人物の行動の機知を読み取っている。</p> <p>c: 文章に出てくる句法を理解し、正しく現代語訳している。返読文字を理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察（音読・発言） ・記述の確認（ノート・ワークシート） ・小テスト ・定期テスト
---	---------	---	---	---	---	---	--

2	物語・小説	<p>【古文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『源氏物語』 「須磨」 「明石の姫君入内」 <p>【漢文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「落雷裁判」 	○	◎	○	<p>【古文】</p> <p>a: 世界的な長編小説である『源氏物語』を読むことで、我が国の伝統文化に対する理解と関心を持っている。</p> <p>b: 語句や表現に注意して文脈を捉え、登場人物の関係性や心情の推移を読み取っている。</p> <p>c: 助詞・助動詞を理解している。敬語の敬意の方向について理解している。「る」「れ」の識別を理解している。</p> <p>【漢文】</p> <p>a: わが国の江戸時代の「大岡政談」等に影響を与えたと考えられる中国裁判小説を読むことで中国古典小説への興味・関心を持っている。</p> <p>b: 計画的な殺人が県令の実証を踏まえた鋭い推理によって暴かれていく展開を読み取っている。</p> <p>c: 多義語である「為」を用いた受身形、「何為」「何処」「何以」等の疑問表現に習熟している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察（音読・発言） ・記述の確認（ノート・ワークシート） ・小テスト ・定期テスト
---	-------	--	---	---	---	--	--

2	歴史物語・文章	<p>【古文】</p> <p>・『大鏡』</p> <p>「道真と時平」</p> <p>【漢文】</p> <p>・「捕蛇者説」</p>	○	◎	○	<p>【古文】</p> <p>a: 歴史物語に表現されている事件や人物像の読み取りを通じて、人間の生き方や考え方についての考察を深めている。</p> <p>b: 語句や表現に注意して文脈を捉え、登場人物の行動と心情の推移を読み取っている。</p> <p>c: 二方面敬語について理解している。</p> <p>【漢文】</p> <p>a: 唐代の古文復興運動の中心人物であった柳宗元の明快な論説文に興味・関心を持っている。</p> <p>b: 毒蛇取りの蔣氏が語る過酷な納税の現実を読み取る。</p> <p>c: 反語形・詠嘆形の多用など、文章の特徴を踏まえ、正しく現代語訳している。</p>	<p>・行動の観察（音読・発言）</p> <p>・記述の確認（ノート・ワークシート）</p> <p>・小テスト</p> <p>・定期テスト</p>
3	物語・史伝	<p>【古文】</p> <p>・『住吉物語』</p> <p>「継母の謀略」</p> <p>〈物語から分かる古人の生活やものの考え方について、グループでまとめて発表する〉</p> <p>【漢文】</p> <p>・『史記』</p> <p>「荊軻」</p>	○	◎	○	<p>【古文】</p> <p>a: 古典の世界に描かれた古人の生活やものの考え方について考察を深め、自分の言葉で発表している。</p> <p>b: 語句や表現に注意して文脈を捉え、継子物の特徴や古人のものの見方を読み取っている。</p> <p>c: 呼応の副詞を理解している。紛らわしい語の識別を理解している。</p> <p>【漢文】</p> <p>a: 『史記』に表現されている事件や人物像の読み取りを通じて、人間の生き方や考え方についての考察を深めている。</p> <p>b: 登場人物の描き方から、司馬遷の歴史観について考察できている。</p> <p>c: 文章に出てくる句法を理解し、正しく現代語訳している。</p>	<p>・行動の観察（音読・発言）</p> <p>・記述の確認（ノート・ワークシート）</p> <p>・小テスト</p> <p>・定期テスト</p>

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度
c: 知識・理解

b: 読む能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎を付けている。